

10日間の
特別祈禱

【7日目】三天使のメッセージ

—安息日と祈り



【テーマ聖句】

「彼らが焼き尽くす献げ物といけにえをささげるならわたしの祭壇で、わたしはそれを受け入れる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。」

イザヤ 56: 7 下旬

2022年1月11日(火)

「わたしは彼らのために、とこしえの名を与え 息子、娘を持つにまさる記念の名を わたしの家、わたしの城壁に刻む。その名は決して消し去られることがない。また、主のもとに集って来た異邦人が 主に仕え、主の名を愛し、その僕となり 安息日を守り、それを汚すことなく わたしの契約を固く守るなら わたしは彼らを聖なるわたしの山に導き わたしの祈りの家の喜びの祝いに 連なることを許す。彼らが焼き尽くす献げ物といけにえをささげるなら わたしの祭壇で、わたしはそれを受け入れる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。」
イザヤ書 56章 5-7節

目的を持って創られた

三天使のメッセージは、高らかに創造主を礼拝するようと呼びかけます。私たちは遺伝子の突然変異によって誕生したのでも、進化して生まれてきたのでもありません。神様が私たちを創造したのであり、私たちの命はキリストの尊い贈り物なのです。使徒ヨハネは次のように述べています。「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、**栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。**」（黙示録 4:11） 私たちが神の御心によって存在していると認識するときに、私たちの心には神への畏敬の念が生まれます。安息日は、私たちが目的を持って創られたことを思い起こさせてくれるのです。安息日は、私たちをエデンの園に連れ戻し、私たちの生活に最高の祝福を注ごうとしておられる、愛に満ちた創造主を思い出させてくれるのです。苦しみや病に満ちた世界の中にあっても、創造主は「わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにはしない」（ヘブライ 13:5）と約束してくださっています。この真実を知ることが、私たちに命という贈り物をくださった神への感謝と、私たちに人生の目的をお与えになった神の発見へと導くのです。

安息日—祈り、賛美、そして宣教への招き

安息日はまた、私たちに贖いの贈り物を思い起こさせます。私たちは安息日にすべての業を休み、キリストが私たちのために成し遂げてくださった御業の内に、恵みの内に休むのです。（ヘブライ 4:9、10）安息日は、イスラエルの民に課せられた遵守すべき律法や義務ではありません。安息日は、全人類にとって恵みに満ちた特別な日であり、私たちの贖いは完全にキリストにあると認める日なのです。キリストは、天地創造の一週間を次のような言葉で締めくくられました。「**天地万物は完成された。第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。**」（創世記 2:1-2） また、キリストは十字架上で「成し遂げられた」という言葉を持って、ご自身の働きを完成されました。私たち人間は、キリストの創造のわざに何ひとつ関与することはありませんでした。キリストご自身がその働きを始められ、そして完成されたのです。同じように、私たちはキリストの十字架による贖いのわざに一切関与していません。キリストご自身が救いの働きを始められ、そして完成されたのです。安息日は、愛の主を喜び、その配慮に感謝し、私たちを救うために高い代価を払ってくださったキリストに栄光を帰すことを思い起こす日なのです。まさに安息日は、祈りへの招きの日であり、賛美への招きの日であり、素晴らしい主を宣べ伝える働きへの招きの日なのです。

安息日はまた、絶望や悲しみ、苦しみに満ちた世の中であっても、私たちは決して孤独ではないことを思い出させてくれます。大自然の荘厳さを見るときに、私たちはたとえ苦しみに満ちた世界に生きていても、創造主である神の愛を思い起こすことができるのです。安息日は、私たちの目を天地創造の素晴らしいみわざに向けるととも

に、新しい天と新しい地をも同時に指し示すのです。それは、かつてのエデンの園のような輝きの内に、神が再創造される新しい世界です。安息日はまた、神に感謝をささげる日です。主が私たちを創造し、私たちの人生に明確な目的を与えてくださったことに感謝するのです。キリストが私たちの罪を贖い、私たちのために無限の代価を払ってくださったことに感謝するのです。主が再びおいでになり、私たちのために新しい天と新しい地をご用意くださることに感謝するのです。安息日の度に、感謝の心を持って主を求め、共に祈りましょう。

【神のみ言葉によって祈る】

「わたしは彼らのために、とこしえの名を与え 息子、娘を持つにまさる記念の名をわたしの家、わたしの城壁に刻む。その名は決して消し去られることがない。また、主のもとに集って来た異邦人が 主に仕え、主の名を愛し、その僕となり 安息日を守り、それを汚すことなく わたしの契約を固く守るなら わたしは彼らを聖なるわたしの山に導き わたしの祈りの家の喜びの祝いに連なることを許す。彼らが焼き尽くす献げ物といけにえをささげるなら わたしの祭壇で、わたしはそれを受け入れる。わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。」
イザヤ書 56章 5-7節

彼らのために

神様、あなたは私たちすべての者を創造されました。私がこの世界に存在することを喜び、私と永遠に交わることを望んでくださっています。そう、あなたは全人類の救いを切に願っておられるのです。あなたは全ての国、部族、民族の救いを願っておられます。あなたをほめたたえます。この真実を思い起こさせてくれる、毎週の安息日を感謝します。

安息日を守り、それを汚すことなく

主よ、私は今まで何度も安息日を守らなかつたり、第一優先にしてきませんでした。どうぞ私の罪をお赦しください。安息日を守り、この日にあなたの偉大さを心に認め、あなたを高く掲げることができるよう。私の目と耳を開いて、日々あなたの御心を知り、行うことができますように。そしてあなたの誠実さに感謝しながら、人々に証をする一週間を過ごすことができますように。

わたしの契約を固く守るなら

イエス様、安息日は創造主であるあなたを思い起こす機会であるだけでなく、救いのしるしであることを感謝します。あなたの契約の約束にしっかりとつながるとき、私はあなたの義によって覆われ、救いの確信でみたまされるのです。あなたの内に憩うことができるこの日を心から感謝します。安息日を守ることで、私たちがあなたの祝福を十分に味わうことができますように。

【更なる祈りの提案】

- 感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する
- 告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する
- 願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする
- 教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるように祈る
- 人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る
- 静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ